

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

南アルプス市「まちの駅」くしがた

【 3密の回避 】

① 換気設備の設置等（「密閉」の回避）

□ 30分に1回以上、5分間以上、2方向の窓を開けて換気を行う。

- ・ファンは常に回す。

② 施設内の混雑の緩和（「密集」の回避）

□ 入場者の制限などにより混雑度を管理する。

- ・ 正面入口に従業員が立ち、同時に8人以上は入店させない。番号札と順番表を活用し人数制限をする。

□ 滞在時間の制限や予約制の活用などにより同時に多数の人が集まらないようにする。

- ・ 営業時間の短縮（→9時30分から15時00分）令和2年7月1日より9時30分から16時30分の営業とする。
- ・ 滞在時間を制限し、入店から退店までを20分以内とする。
- ・ 予約販売の場合は、可能な限り朝の混雑時間を避ける。（→11時以降に引き渡すようにする）

□ 動線の工夫やイベントの制限などにより施設内で過度に人が密集する機会を減らす。

- ・ 開店してから約1時間は混雑しているため、入口から出口まで一方通行にする。レジ会計が済んだらお客様自身で袋詰めをしてもらう。
- ・ イベントは行わない。
- ・ 店内の椅子はお客様に見えないようすべて片付ける。

③ 人と人との距離の確保（「密接」の回避）

□ 最低1m（マスク着用のない場合は2m）の対人距離を確保する。

- ・ レジの会計待ちは、床に1m間隔でテープを張り、お客様が間隔を空けるよう制限をかける。

- ・ 商品（野菜や加工品）の陳列は間隔を空けて設置する。
- レジ会計は、透明ビニールクロスで遮蔽する。
- 近距離での会話や発声を避ける。
 - ・ お客様同士の会話を控えるよう正面入口に掲示する。

【 その他の感染防止対策 】

④ マスクの着用

- マスク着用について、従業員が遵守するとともに、利用者にも周知する。
 - ・ 利用者のマスク無しでの入店は原則禁止とする。マスク無しの場合には店内で購入し着用してもらう。

⑤ 手洗い・手指消毒

- 従業員は定期的に、利用者は入場時に、手指消毒、手洗いを実施する。
 - ・ 入口に消毒液を設置して、利用者の手指消毒を促す。
 - ・ 従業員は、業務開始時や他者の接触が多い場所に触れた後やトイレの利用後などには必ず手指を消毒する。

⑥ 体調チェック

- 従業員に対して、業務開始前に検温・体調確認を行う。
 - 発熱（例えば平熱より1度以上）や軽度であっても風邪症状（せきやのどの痛みなど）、嘔吐・下痢等の症状がある場合には、出勤を停止する。
 - ・ 従業員の健康管理表を作成し、毎日の体温や体調について記入する。
- 従業員は入店者に対して、発熱（例えば平熱より1度以上）や軽度であっても風邪症状（せきやのどの痛みなど）、嘔吐・下痢等の症状があれば入店しないように呼びかけるとともに正面入口にも掲示する。

⑦ トイレの衛生管理

- 不特定多数が接触する場所（便座、スイッチ、洗浄レバー等）は、定期的に清拭消毒を行う。
- ・ トイレの掃除チェック表をつける。

- ・ トイレを利用する際には従業員に声をかけるよう表示しておき、利用後は従業員がその都度清拭消毒を行う。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示する。
- 手洗いの際のハンドソープや手指消毒液、ペーパータオルを設置する。

⑧ 清掃・消毒

- 他人と共用する物品や複数の人の手が触れる場所を高濃度エタノールや市販の界面活性剤含有の洗浄剤、漂白剤を用いて定期的に清拭消毒する。
 - ・ レジカウンターや陳列棚、冷蔵庫などこまめに清拭消毒する。
 - ・ レジが済んだ買い物カゴは消毒してから、入口に置く。
- 鼻水や唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に密閉して捨てる。
ゴミを回収する人はマスクや手袋を着用し、脱いだ後は石けんで手を洗う。

【 施設ごとの注意点等 】

⑨ 正面入口に掲示

- マスクの着用、一方通行（正面入口→西出口）、人数・時間制限、間隔を空ける、体調不良の方の入店を控える、お客様同士の会話を控える、緊急事態宣言の対象区域の在住者の利用
- 制限などについて正面入口に掲示する。さらに従業員は説明と案内をする。

⑩ チェックリストの作成・確認

- 感染拡大予防ガイドラインを作成し、当該チェックリストによる日々の確認及び市への報告をする。報告は毎月 10 日までに前月分を月次報告と共に提出する。